

避難訓練の実施結果報告についての 説明資料

Ver1.0

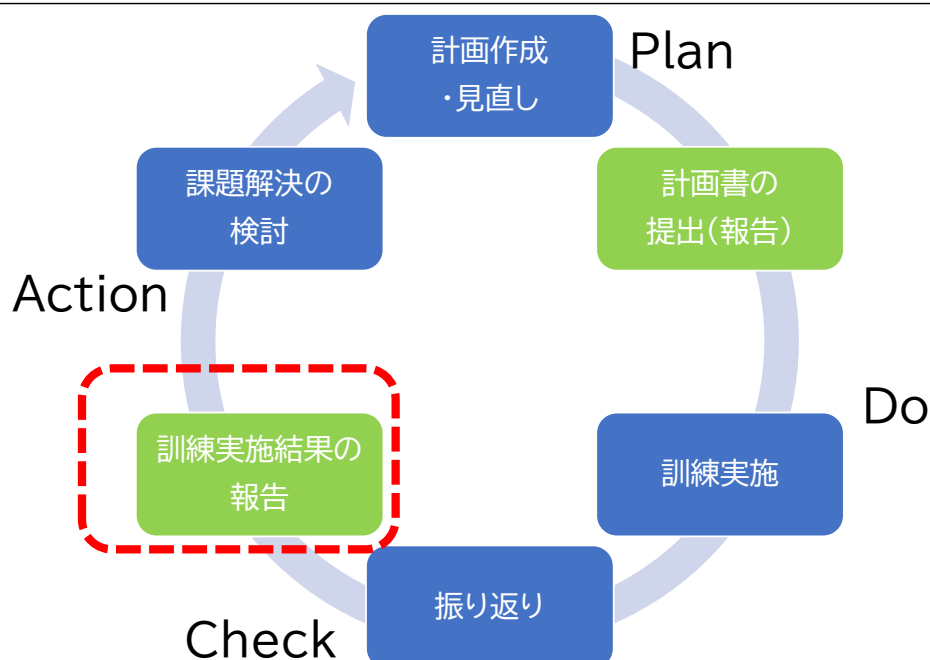
令和6年3月

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター
三重県

避難訓練の実施結果報告についての説明資料

訓練実施後の取組

訓練実施後は、実施結果報告書を所定の様式で作成し、速やかに市町へ提出しましょう。



〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇市町長 様

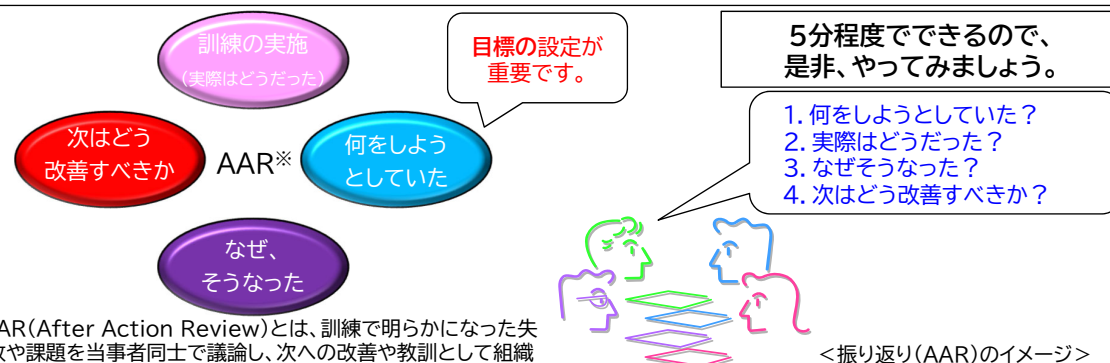
報告者（施設の所有者又は管理者）所在地 ○○市○○1-1 社会福祉法人○○○○
職・氏名 理事長 ・○○ ○○
（電話番号○○○○-○○ ○○-○○○○）

施設名	〇〇ホーム 〇〇〇					
実施日時	〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時〇〇分 から 〇〇時〇〇分 まで					
実施場所	〇〇市〇〇一- ①					
想定災害 (該当する□にチ ェックをす。)	<input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> その他の災害()					
訓練種別・内容 (該当する□にチ ェックをす。)	<input type="checkbox"/> 図上訓練		<input checked="" type="checkbox"/> 情報伝達訓練			
	<input checked="" type="checkbox"/> 避難経路の確認訓練		<input checked="" type="checkbox"/> 立退き避難（屋外退去）訓練			
	<input type="checkbox"/> 意慮訓練（屋内安全確保）訓練		<input type="checkbox"/> 持ち出し品の確認訓練			
	<input type="checkbox"/> その他の訓練					
	(訓練内容を適時自由記載) 職員の手参観訓練を含めて実施					
	促進者 <input type="checkbox"/> 全員／ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="radio"/> 名（うちパート・アルバイト <input type="radio"/> 名）					
	施設利用者 <input type="checkbox"/> 全員／ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="radio"/> 名（うち通所者 <input type="radio"/> 名）					
訓練参加者 ・参加人数	その他訓練参加者					施設利用者の家族 <input type="radio"/> 名 地域の協力者 <input type="radio"/> 名 その他 <input type="radio"/> 名
訓練実施責任者	職	施設長	氏名	〇〇 〇〇		
確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 避難経路に異した人数		<input type="radio"/> 名	<input checked="" type="checkbox"/> 避難に要した時間	〇時間 〇〇分	
	<input checked="" type="checkbox"/> 避難先や避難経路の安全性					
	その他					
	職員の参観に要した時間 〇時間〇〇分					
訓練によって確認された課題と その改善方法等 (課題) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (改善方法等) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○						
訓練記録作成者	職	部長担当主任	氏名	〇〇 〇〇		

※この報告様式は、国土交通省の様式例を参考に、加筆修正して作成したものです。

- 実施した訓練の災害想定
- 実施した訓練の種類
(次頁 訓練の種類を参照のこと)
- 訓練参加者の人数
- 訓練内容に応じて確認した事項
- 実施した訓練によって、確認された課題やその改善方法等
(振り返り内容や計画見直し内容の概要等)

- 避難訓練は、毎年実施することが重要です。
- また、訓練結果は市町村に報告する必要があります。
- 訓練終了後には、参加者により訓練の振り返り(AAR※)を実施し、必要に応じて避難確保計画を見直すとともに、避難体制の改善につなげるようにしましょう。
- 訓練結果の振り返りを適切に実施するためには、あらかじめ訓練の目的と目標を決めておくことが重要です。



※AAR(After Action Review)とは、訓練で明らかになった失敗や課題を当事者同士で議論し、次への改善や教訓として組織の災害対応に活かす「ふりかえり」です。

参考・訓練の種類(1/3)

- 利用者を避難先に移動させる訓練としては、立退き避難訓練と屋内安全確保訓練があります。
- 立退き避難訓練は、施設外の避難先に利用者を移動させる訓練です。
- 屋内安全確保訓練は、施設の上階などに利用者を移動させる訓練です。
- 可能であれば、訓練は職員のみならず、避難支援協力者の参加も得て行うようにしましょう。




訓練種類	立退き避難訓練	屋内安全確保訓練
訓練イメージ	施設内移動 ⇒ 車両への移動、徒歩⇒ 避難先(利用者の支援)	施設上階への移動(階段・エレベーター)⇒ 上階での利用者の支援
		

出典：国土交通省HP「要配慮者利用施設における避難確保に関するeラーニング教材」より加工して作成
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/e-learning.pdf>

5

参考・訓練の種類(2/3)

- 図上訓練は、避難先までの立退き避難訓練や屋内安全確保訓練のシミュレーションを行う訓練です。情報収集・情報伝達訓練を合わせて行う場合があります。
- 情報収集・情報伝達訓練は、避難に必要な防災気象情報や避難情報を収集し、その情報を職員や避難支援協力者等に伝達する訓練です。
- 避難経路等の確認訓練は、現地を実際に見て、避難先や避難経路の安全性等について確認する訓練です。

訓練種類	図上訓練	情報収集・情報伝達訓練	避難経路等の確認訓練
訓練イメージ	・地図等を活用したイメージ訓練 	・日頃からの気象情報等の確認 ・施設内での情報伝達訓練 	・避難先までの移動時間の確認 ・大雨時における安全性の確認 

出典：国土交通省HP「要配慮者利用施設における避難確保に関するeラーニング教材」より加工して作成
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/e-learning.pdf>

6

参考・訓練の種類(3/3)

- 設備・装備品・備蓄品・持ち出し等の確認訓練は、避難に必要な設備や装備品の点検や備蓄品の在庫確認、避難先への持ち出し品を準備する訓練です。

訓練の種類	設備・装備品・備蓄品・持ち出し品等の確認訓練	【参考】屋内安全確保で避難するときの注意点
訓練イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の避難に必要なものを確保 ・避難先にて必要なものを確保 ・移動しやすい場所にあるかの確認 	<p>○施設内に数日間過ごせる量の食糧や水、薬を備蓄しておきましょう。</p> <p>○停電、断水、ガスの供給停止に備え、施設内に数日間過ごすための懐中電灯、非常用電源、携帯トイレ等を備蓄しておきましょう。</p> 
	<p>【参考】避難支援に必要な設備や機材等</p> <p>○エレベーターの活用に加え、非常用電源の設置やエレベーターの代替えとなるスロープの設置、階段昇降機の設置、車椅子等を支援者が持ち上げることも想定した階段幅の確保しましょう。</p> <p>○避難及び避難先における支援に必要な装備品や備蓄品を適切に確保しておきましょう。</p>	<p>※電力を必要としないものや蓄電池により稼働するもの</p> <p>※車椅子や担架等を支援者が持ち上げることを想定した階段幅</p> <p>非常用発電機</p> <p>スロープ</p> 

出典：国土交通省HP「要配慮者利用施設における避難確保に関するeラーニング教材」より加工して作成
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/e-learning.pdf>

報告書を作成したら...

施設が立地する市町の窓口へ
報告書を提出しましょう

(ご注意ください)

- その1：提出先窓口は、市町によって異なるため、提出に先立って確認しておきましょう
- その2：提出先によって、報告書様式を独自に定めている場合があります。併せて、確認しておきましょう